



東京女子医科大学学術リポジトリ  
<https://twinkle.repo.nii.ac.jp>



## チュートリアル課題 番組制作は大忙し!

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	チュートリアル課題
巻	2017
号	S6
発行年	2017-10-30
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/00032916">http://hdl.handle.net/10470/00032916</a>

2017年度      Segment. 6

課 題      No.5

課題名：番組制作は大忙し！

課題作成者：眼科学

小暮朗子



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

放送局に勤務している修平さん（50歳）は、新番組の制作に追われ、今夜も終電での帰宅です。

「今日も疲れたなあ。老眼も進んでいるから仕事のスピードが遅くなっちゃって」とビールを飲みながら肩を落とします。何だかテレビの画面に違和感を覚えましたが、疲れのせいだろうと思い、ベッドに入りました。

新番組の打ち合わせのため、自宅を出るのは6時前です。慌てて小走りで駅に向かいます。まだ初夏なのに気温は20度を超え、汗っかきの修平さんは駅に着くころには、びしょりです。

「はあはあ、ギリギリ間に合った。電車が来るまで、あと2分だな。」

「あれ？何だか電光掲示板の見え方が変だぞ」

左右の眼を交互に隠して見ると、どうやら左眼の見え方がおかしいようです。

シート2

修平さんは、左眼の具合が気になっているものの、相変わらず睡眠不足の日々です。朝早くから深夜まで新番組制作のために奔走している内に、なんだか見えない部分がますます広がって、打ち合わせにも支障を来してきました。

新番組が順調にスタートし、これを機に眼科を受診することになりました。

見え方がおかしいと感じてから、もう1週間が経過しています。

眼科では、前にも受けた事があるような検査をいくつか受けましたが、後日もっと詳しい検査が必要のようです。

シート3

「だいぶ前からおかしかったのではないですか？」

眼科医は修平さんの顔を覗き込みます。

検査の結果をみせながら左眼の状態を詳しく説明してくれました

「網膜がむくんでしまっています。治療が必要ですネ。」

「えっ？ 網膜って、むくんじゃうんですか？ ちゃんと治るのでしょうか？」

「視力は改善すると思います。ただし、元通りにもどるわけではありませんよ。お忙しいとは思いますが、きちんと治療をしましょう。まずは、、、」

修平さんは、早速治療を受ける事になりました。とても不安です。痛いのでしょうか？

シート4

治療は思ったほど痛くなく、2，3分で終わりました。

その後、新番組は視聴率も好調で、修平さんにご機嫌です。

治療後も左眼の下方の視野には違和感が残っていますが、視力は、少し良くなったようです。

「先生、かなり見やすくなりました。もう大丈夫ですね？」

「むくみはだいぶ良くなりましたね。でも、レーザー治療が必要な可能性もあります。また、むくみは再発する事も多いので、しっかり定期検査を受けてください。」

先生は続けました。

「それと生活習慣を整える事も大切です。お仕事柄、目は大切にしましょうね」

突然の病気を経験し、少し生活を見直そうと思う修平さんです。